



114  
A 125  
20



第三百五号 三葉

十一月九日ペラルゴ抄訳

日支ノ難穩ヤカニ解釈ス

初メニ百萬テイルノ償金ヲ望ミタルニ其  
數過多ナリトテ支那國ク之ヲ拒ミシニヨリ大  
久保遂ニ交際ヲ絶チ二十六日袖ヲ拂テ去ラン  
トセシカ既ニシテ支那又五十萬テイルヲ以テ  
事ヲ寢マシト請ケレハ大久保之ヲ諾シ十二月  
二十日ヲ以テ日本各地ノ兵ヲ撤シ同日支那又  
償金ヲ拂フニ由ニ定マリ十月三十一日雙方其

大正十一年四月  
大隈侯爵郵寄贈





約ニ調印アリト云フ

又

風説ニ據ルニ支那日本ノ請フ所ヲ聽カサルニ  
日リ大久保ト總理衙門トノ談判一旦破レタル  
ヲ英國ニミストル其間ニ周旋シテ再ビ之ヲ復  
スルニ至リタリト云フ又英國ニミストルノ周  
旋ニ蓋シ支那妥府ノ請ニ由レリト云フ今固ノ  
約ニ支那ニ在テハ極ノテ愧ツヘシト虽モ兵端  
ヲ開テ其民横毒ニ罹リ且ツ貿易委靡スルニ比  
スレハ尚勝レリトテ支那人ハ皆相告ケテ慶賀

スト云ヘリ

又支那寓言一則

曾テニ鷄アリ濠ヲ隔テ、相住ス東鷄ハ形小ニ  
シテ殻大ナリ西鷄ハ形大ナリト虽モ胃弱ニシ  
テ大邑ヲ食スル能ハス又東鷄ハ数子ヲ將ト常  
ニ其浮躁ニシテ制シ難キニ苦シム一日東鷄濠  
邊ニ遊ビ濠ノ中央ニ泥洲アルヲ見ル洲上ニ數  
姓アリ東鷄ヲ睨視シ頗フル魚状ヲ極ム東鷄喜  
テ曰ク我レ一斗ヲ得タリ我兒ヲシテ銳氣ヲ此  
ニ洩ラシメハ後幾ハ少シク其暴ヲ止メト曰



テ其蓄フル所ノ淋中鈍刀ヲ出シテ諸羅ニ與ヘ  
島姓ヲ征セン 議ス偶一鸞アリ請フテ曰ク願  
ハクハ共ニ軍ニ從ヒ羅鷄ニ教フルニ我家ノ戰  
法ヲ以テセント母鷄之ヲ許シテ遂ニ發行セシ  
ノ且ツ諭シテ曰ク汝等全島ヲ剽スルヲ得ハ  
姑ヲク嶋中ニ駐マリテ更ニ我令ノ至ルヲ待テ  
ト羣羅皆悅テ曰ク今日聊以テ我勇ヲ伸フヘシ  
ト踴躍シテ鷺ニ赴キ其三蛙ヲ戮シ一蛙ヲ絞  
殺テ後島中ニ營シテ母鷄ノ命ヲ請フ  
此ニ至ルマテ西鷄曾テ島中ノ事ヲ意トセス然

レ其友環視シテ之ヲ朝ケリ其肥大ニシテ自  
カラ動クヲ能ハサルヲ言フ者アリ又之ヲ其怯  
ニ歸スル者アリ是ヲ以テ西鷄遂ニ一兎ヲ買フ  
テ之ヲ被ムリ東鷄ニ向テ嚇スル者三回以テ之  
ヲ威セント欲ス然レハ東鷄敢テ屈セス亦嚇然  
トシテ之ニ向ヒ勢ヲ為シテ相對スル者之ヲ久  
クス既ニシテ東鷄其甥ヲ送り請シメテ曰ク汝  
三十六錢ヲ出シテ我軍費ヲ償ハシ我レ即チ兵ヲ  
撤セント西鷄之ヲ聽カス又嚇スル者三回曰ク  
我レ先ツ汝ヲ斃スセント是ニ於テ東鷄其償額



ヲ減シテ三十錢 為シ即日其半ヲ得テ共餘ハ  
之ヲ三月ニ配<sup>付</sup>シ以テ之ヲ得ント欲ス西鷄尚  
之ヲ聽カス嚇スル<sup>ト</sup>益甚タシ東鷄則チ言ヲ放  
テ曰ク我レ復タ我軍ヲメ一步ヲ退カシムル<sup>ト</sup>  
能ハスト西鷄其辞色甚タ決スルヲ視テ稍懼ル  
乃チ更ニ請フテ曰ク願ハクハ四錢半ヲ贈<sup>テ</sup>事  
ヲ寢メント然レ氏東鷄其九錢ヨリ少ナキヲ欲  
セズ忿争時ヲ移シテ後東鷄之ニ勝ニ終ニ其欲  
スル所ヲ得タリ

訳 大島正七位